

公益社団法人日本雪氷学会関東・中部・西日本支部  
2017年度総会

日時： 2017年5月15日（月） 15：40～16：10

場所：勤労者山岳連盟

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 5-24

電話 03-3260-6331

<http://www.jwaf.jp/profile/location/index.html>

審議事項

- 1) 2016年度事業報告
- 2) 2017年度事業計画・予算計画
- 3) 支部内規の改訂
- 4) その他

報告事項

- 1) 支部賞の報告
- 2) 新理事
- 3) その他

その他

その他の予定

13:30-15:30 日本雪氷学会関東・中部・西日本支部 2017年度第1回理事会

16:15-17:30 支部賞表彰式および受賞者講演会

2017年日本雪氷学会 関東・中部・西日本支部総会の資料

1. 2016年度 事業報告書(案) 2017年度事業計画書(案)

公益社団法人日本雪氷学会 2016年度 事業報告書(案)		
事業分類	事業小分類	事業名
1 調査・研究	調査	
	研究	関東以西市民が用いる積雪調査法の開発
2 研究会研修会	研究発表会	
	研修会等	関東以西 GIS 研修会
		関東以西講演会の開催(断面観測講習会 北信越支部と合同)
	普及・啓発	関東以西サイエンスアゴラ 2016 への出展
		関東以西ホームページ、メーリングリストの運営
		大雪シンポジウム(気象学会メソ研究会共催)
	褒賞	関東以西支部表彰制度の創設
3 出版事業	学会誌	
	支部等機関誌	関東以西ニュースレターの刊行(1回)
4 その他	管理事項	関東以西支部総会の開催(千葉)
		関東以西支部理事会の開催(3回:千葉、名古屋、東京)
公益社団法人日本雪氷学会 2017年度 事業計画書(案)		
事業分類	事業小分類	事業名
1 調査・研究	調査	関東以西大雪災害の情報収集
	研究	関東以西市民が用いる積雪調査法の開発
2 研究会研修会	研究発表会	
	研修会等	JPGUでのGIS研修会
	普及・啓発	関東以西サイエンスアゴラ 2017 への出展
		関東以西ホームページ、メーリングリストの運営
		積雪断面観測講習会(北信越支部共催)
		シモバシラ(析出氷)の観測会(高尾山)
	褒賞	関東以西支部表彰制度
3 出版事業	学会誌	
	支部等機関誌	
4 その他	管理事項	関東以西支部総会の開催(東京)
		関東以西支部理事会の開催(3回)

## 2. 2017年度予算計画書（案）

正の数字は支出、負の数字は収入を示す。なお、2016年度決算は本部が一括して行うため、支部には無し。

関東以西大雪災害の情報収集及び関東以西市民が用いる積雪調査法の開発	
事業費 消耗品費	50,000
JPGUでのGIS研修会	
事業費 会場費	32,000
消耗品費	3,000
関東以西サイエンスアゴラ2017への出展	
事業費 通信運搬費	20,000
事業費 消耗品費	50,000
関東以西ホームページ、メーリングリストの運営	
事業費 通信運搬費	2,000
事業費 消耗品費	3,000
積雪断面観測講習会（北信越支部共催）	
事業費 旅費交通費	20,000
シモバシラ（析出氷）の観測会（高尾山）	
収入 事業収益	-10,000
事業収益 旅費交通費	30,000
事業費 諸謝金	10,000
関東以西支部表彰制度	
事業費 旅費交通費	15,000
事業費 消耗品費	5,000
総会・理事会の開催	
管理費 会場費	20,000
計	250,000

### 3. 支部内規の改訂について

字句の修正以外の改正案を以下に示す。

#### A: (事業) 第3条(2)

現：雪氷及び寒冷に関する研究会、講演会、座談会、見学会等の開催

案：雪氷及び寒冷現象に関係した社会貢献および普及活動（研究会、展示、講演会、座談会、見学会など）

#### B: (会員) 第4条

現：本支部の会員は、関東（関東地方及び山梨県）、中部（静岡、愛知、岐阜、三重の各県）及び西日本（福井及び三重県を除く近畿、中国、四国、九州の各地方）に在住する雪氷学会の会員とする。他支部に所属する会員であっても、本支部に所属することを希望する場合は、重複所属することを妨げない。

案：本支部の会員は、関東（関東地方及び山梨県）、中部（静岡、愛知、岐阜、三重の各県）及び西日本（福井及び三重県を除く近畿、中国、四国、九州、沖縄の各地方）に在住する雪氷学会の会員とする。他支部に所属する会員であっても、本支部に所属することを希望する場合は、重複所属することを妨げない。（沖縄を追加）

#### C: (役員) 第6条2号(1)

現：支部理事及び支部監事は、支部会員のうちから支部会員の投票によって選出する。その選出方法に関しては別に定める。

案：支部理事及び支部監事は、支部会員のうちから選出する。その選出方法に関しては別に定める。（“投票”を削除、選挙要項を作成して、選出方法の簡略化を図る）

#### D: (理事会) 第9条第1項

現：支部理事会は、支部理事で構成され、重要事項を議決する。

案：支部理事会は、支部長と支部理事で構成され、重要事項を議決する。

#### E: (総会) 第13条3号2.

現：事業報告及び収支決算

案：事業報告（支部決算は本部に提出し、監査を受け、確定する）

#### F: (総会) 第13条4

現：支部総会は支部会員の5分の1以上の出席がなければ、開会することができない。ただし、委任状を提出したものは出席とみなす。

案：支部総会は支部会員の 10 分の 1 以上の出席がなければ、開会することができない。  
ただし、委任状を提出したものは出席とみなす。（開会要件を緩和）

G: (運営要綱) 第 16 条 1 号および 2 号

現：支部総会の議事録は議長が作成し、速やかに支部ホームページに提示し、支部会員の閲覧に供さなくてはならない。2 支部理事会の議事録の作成者は議長が指名し、理事会の承認を必要とする。

案：支部理事会および支部総会の議事録は、議長が指名した者が作成し、支部理事会の承認を経て速やかに支部ホームページに提示し、支部会員の閲覧に供さなくてはならない。

(1 号 2 号を合体し、2 号は消去)

#### 4. 新理事について

無投票当選された 2017/18 年度の理事・監事のリスト。

##### 理事

青木輝夫	岡山大学
飯田 俊彰	東京大学
兒玉 裕二	国立極地研究所
鈴木 和良	(独)海洋研究開発機構
中澤 文男	国立極地研究所
縫村 崇行	千葉科学大学
平松 和彦	福山市立大学
堀 雅裕	(独)宇宙航空研究開発機構
安木 啓	(株)応用気象エンジニアリング
矢吹 裕伯	国立極地研究所
山岸 陽一	神奈川工科大学

##### 監事

大石 雅人	(株)精研
雪野 昭寛	(株)ニュージック

## 5. 支部賞候補者の選考結果

以下は支部賞選考委員会から理事会への報告案。

関東・中部・西日本支部長 殿

日本雪氷学会関東・中部・西日本  
支部表彰選考委員会  
(委員長) 佐藤篤司  
藤井理行  
木村 茂雄  
納口恭明  
岩波 越  
鈴木和良  
(文書参加) 堀 雅裕  
(欠席) 飯田俊彰

2017年3月18日に国際文献社 高田馬場会議室に於いて審議の結果、下記の通り、論文賞2人、活動賞1人を受賞者として選考したことを報告致します。

### ・論文賞

1. 島田利元 (宇宙航空研究開発機構・地球観測研究センター、研究開発員)  
論文名 : Shimada R, Takeuchi N and Aoki T (2016) Inter-Annual and Geographical Variations in the Extent of Bare Ice and Dark Ice on the Greenland Ice Sheet Derived from MODIS Satellite Images. *Front. Earth Sci.* 4:43. doi: 10.3389/feart.2016.00043
2. ヌアスムグリ アリマス (ゼノクロス航空宇宙システム研究員)  
論文名 : Alimasi, N., H. Enomoto, J. Cherry, L. Hinzman and T. Kameda, 2016, Winter-spring transition of ground conditions over Alaska derived by airborne 6 GHz microwave and infrared observations, *雪氷*, 78巻6号(H28年11月), p365-382.

### ・活動賞

1. 荒木健太郎 (気象庁気象研究所予報研究部第三研究室 研究官)  
推薦理由 : 市民科学による雪結晶観測を通じた雪氷知識普及の功績

## 選定理由

1. 島田利元 (宇宙航空研究開発機構・地球観測研究センター、研究開発員)

論文名 : Shimada R, Takeuchi N and Aoki T (2016) Inter-Annual and Geographical Variations in the Extent of Bare Ice and Dark Ice on the Greenland Ice Sheet Derived from MODIS Satellite Images. *Front. Earth Sci.* 4:43. doi: 10.3389/feart.2016.00043

近年の地球温暖化に伴い、グリーンランド氷床の急激な融解・縮小が懸念されている。グリーンランド氷床縁辺部では、毎夏、積雪が融解した後に広がる裸氷域に、反射率が低い領域(暗色域)が広がっていることが知られているが、暗色域が時空間的に氷床上にどのように分布しているのか、これまでその実態は未解明となっていた。推薦論文となる島田氏の研究は、米国航空宇宙局の地球観測衛星搭載光学センサ MODIS の観測データを独自の処理アルゴリズムで解析することにより、2000-2014年の15年間の長期にわたる裸氷域及び暗色域の時空間変動を世界で初めて明らかにした画期的なものである。本論文は、7月の裸氷域、暗色域の面積がともに15年間増加傾向にあり、過去に地上観測による報告事例が多かった氷床縁辺部の南西側以外にも広い範囲に暗色域が発達していることを明らかにした。また、融解域、暗色域が発達する要因について、裸氷域は気温との相関が高く、一方、暗色域は短波放射量と逆相関の関係にあることを明らかにし、暗色域の実態解明に多大なる貢献をしている。以上の内容により、論文賞として選定した。

2. ヌアスムグリ アリマス (ゼノクロス航空宇宙システム研究員)

論文名 : Alimasi, N., H. Enomoto, J. Cherry, L. Hinzman and T. Kameda, 2016, Winter-spring transition of ground conditions over Alaska derived by airborne 6 GHz microwave and infrared observations, *雪氷*, 78巻6号(H28年11月), p365-382.

推薦論文は、北極圏の山岳、植生や湿地などからのマイクロ波放射の観測結果をまとめたものである。また積雪と温暖化という気候変化の関係を知るうえで重要な融雪期注目し、低温期と融雪開始期、融雪後の変化にも注目し、3回の航空機観測を実施して成果をまとめている。

衛星による雪氷観測ピクセルの中には多様な地表面状態が入るが、本論文では地上観測や衛星観測では得にくい北方森林域やツンドラの湖沼群や山岳の放射情報をまとめている。また、本論文の特長は、従来のマイクロ波観測ではあまり使われていない低周波の6GHzの利用を検討し、積雪下の地表面情報を取得できる可能性を高め、今後の衛星観測技術の開発につながることを期待できる。

本論文では、積雪被覆下でも凍結湖沼が検出できることや融雪開始期の積雪下での昇温、植生域での融解開始前後の赤外線とマイクロ波放射の増加の違いを確認した。また、融雪開始

前後の低地と山岳の比較から、融雪前の寒冷期では高山域のほうが放射輝度の高いこと、融雪開始後はそれが逆転することを示し、新しい観測手法や得られる情報についてまとめている。さらに、衛星観測データから長期・広域の傾向を確認している。

また、本論文は国際共同研究として実施され、その研究成果がまとめられたものであることも評価に値する。今後の研究や技術開発に向けて、本論文の前後にも関連論文を雪氷誌に掲載し、2016年11月からマイクロ波放射計を南極大陸に持ち込んで観測を実施していることも追記し、論文賞として選定した。

### 3. 荒木健太郎（気象庁気象研究所予報研究部第三研究室 研究官）

荒木会員は2016年度から気象研究所「#関東雪結晶プロジェクト」を立ち上げ、関東甲信の市民を対象に降雪時の雪結晶の写真を募集し、首都圏の降雪現象の実態解明に関する研究を行っている。本プロジェクトにおいて荒木会員はスマートフォンを用いたごく簡易な雪結晶の観測手法を確立し、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を通じた観測協力の呼びかけ等により多数の市民が雪結晶観測に参加している。特に、2016年11月24日の関東降雪事例では5,100枚以上の雪結晶画像が集まり、世界で初めての市民参加による超高密度広域雪結晶観測が行われた。本プロジェクトの話題は新聞やTV、ラジオ、科学雑誌やwebニュース等の多くのメディアに取り上げられ、これにより雪結晶に関する知識や簡易観測手法が非常に多くの国民に広く普及された。さらに、荒木会員は2016年12月10日に関東・中部・西日本支部主催のシンポジウム「関東の大雪に備える」の企画・運営で中心的役割を果たし、雪結晶を中心とした雪氷学の知識普及を行った。荒木会員は2017年2月11日の北信越支部との共催の積雪観測&雪結晶観察講習会でも講師を行い、この他にも多くの一般向け講演や著書、SNSでの情報発信で雪氷知識普及を行っている。これらの雪氷学に関する教育・普及活動は顕著であり、活動賞に値するため選定した。

以上。